

勸善懲惡錦画図解

第十一號

編者 時習舎主人  
画者 里の家芳龍



人之性質も何  
育て  
不者  
前々東京芝片門  
清田大兵工と云ふ二男  
龜吉と云ふの歳を僅五  
年九月父大兵工の貧窮  
より自ら自賤き心つき  
同所産十代指荷の辺  
を同所の友と遊  
つしと指荷の  
小目を附ぬきとて  
見付られつれゆきを見て  
大兵工大驚きとて下土  
頭を打ちつれと涙を流し  
自身負つて子供を学校  
ケく下土ゆきとて事  
少すく東西レス  
と云ふ是れお前のつ  
父をさしひて下土  
愛あらぬと有様を  
果して此親父之度  
却て云ふ学者お  
へのおそれて  
迷ふ  
泊堂

本所 藤井時習舎